

精神的ゆとりがない」、「健康上の理由、体力に自信がない」という理由が多かった（それぞれ32.2%、31.5%）（図1-2-5-8）。

このように、日本人は、他の4か国と比較して「社会活動に関心はあるものの、時間的・精神的ゆとりや健康上の理由から参加していない」人が多いということがうかがえる結果になった。

### (3) 高齢者の学習活動

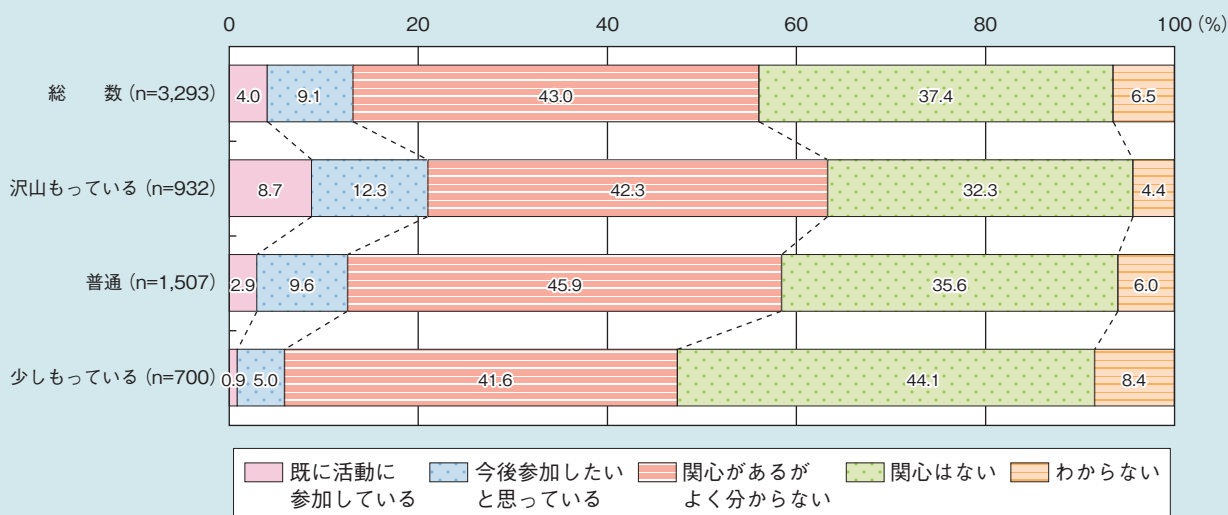
60歳以上の高齢者の学習活動への参加状況についてみると、何らかの学習活動に参加してい

る人の割合は17.4%となっている。具体的な活動では、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」が7.6%、「公共機関や大学などが開催する公開講座など」が4.8%などとなっている（図1-2-5-9）。

### (4) 若い世代との交流の機会への参加状況

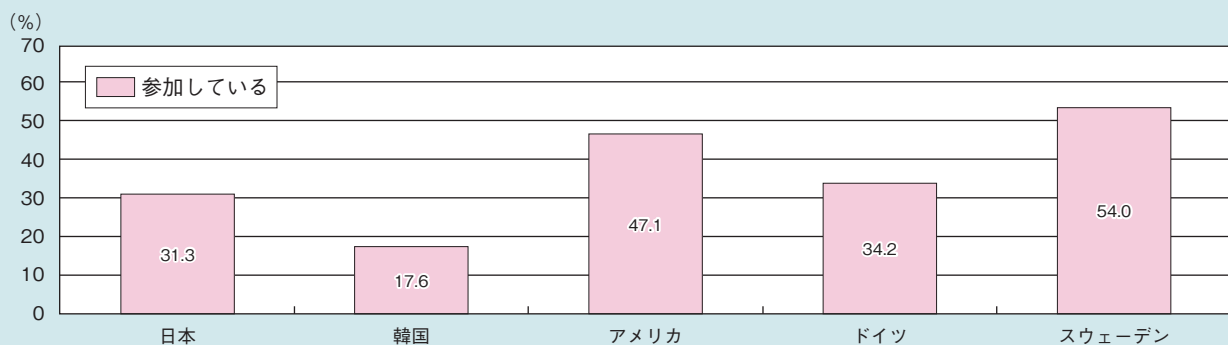
60歳以上の高齢者の若い世代との交流の機会についてみると、なんらかの交流の機会がある人の割合（「よくある」、「たまにある」と回答した人の計）は平成20年（2008）で54.9%となって

図1-2-5-6 NPO活動への関心の有無（親しい友人の有無別）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成20年）  
（注）調査対象は、全国60歳以上の男女

図1-2-5-7 ボランティア活動その他の社会活動への参加状況



資料：内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」（平成22年）  
（注）調査対象は、60歳以上の男女